

文章理解 松本大学 2025 年度学校推薦型選抜前期 出題の意図

第1問は暉峻 淑子『社会人の生き方』、第2問は魚住陽子の小説『ダブルデライト』から出題した。

第1問の『社会人の生き方』は、今や個人の領域のみで当否を判断できるものではなく、他者とのつながりを尊重しながら社会を全体として理解したうえで、個人の損得を超えた積極的な社会参加の考え方を提示したもので、文章量も少なく、読み取ることに苦労はなかったと思われる。設問については、筆者の主張を問う問題や、筆者が伝えようとする内容を問う問題、本文での表現効果を問う問題などを中心に、重要語の理解、文脈の理解を見るための空欄補充問題などを出題した。

また第2問の小説『ダブルデライト』は、老婦人が昔別れた恋人の屋敷を訪れるという内容の小説。こちらについても場面設定を読み取ることは容易で、表現にもとづき、その内容を深く読み取ることがポイントとなる。設問については、老婦人の心情を問う問題、小説の題名に込められた意味を問う問題をメインに、「丹精」「小春日和」「屈託のない」などの語彙を問う問題、文脈を踏まえ適切な言葉を補う問題などを絡めて出題した。設問を解くにあたっては、感覚で解くのではなく、場面設定を理解し、登場人物の心情を反映した言動や描写に着目して、登場人物の心情を的確に読み取っていくことが重要であり、日頃からそのような読み取りができていないかを問う出題としている。

文章理解 松本大学 2025 年度学校推薦型選抜後期 出題の意図

第1問は稲垣栄洋『植物はなぜ動かないのか』、第2問は野坂昭如『戦争童話集』収録の「焼跡の、お菓子の木」から出題した。

第1問で取り上げた文章は、人為的分類や系統分類などの分類はいずれも人間が自然界を理解するための整理の結果であって、植物は人間の概念そのものを乗り越えて変化していく自由さを持っていることを述べたもの。書かれている内容は明確で、読み取りに苦労することはなかったと思われる。出題にあたっては、筆者の論の展開をしっかり追うことができているか、筆者の主張を正しく捉えられているかを見ることをメインに、漢字問題、空欄補充問題等を絡めて出題を行った。

また、第2問では、焼跡で子供たちが見つけた一本の不思議な木は、空襲で死んだママと少年の熱い思いが育てたお菓子の木であったという内容の童話を、全文に基づきつつ一部を省略して出題文とした。童話という体裁をとり平易には書かれているが、書かれていることがどのような内容を意味しているのか、正確に読み取ることは意外と簡単ではない。その意味から、内容説明の問題（問四～問七）、表現内容について吟味する設問（問八）を中心に、空欄補充問題（問一・問三）、脱文挿入問題（問二）を絡めて、問題文の読み取りの精度を見る出題を行った。

松本大学 2025 年度 編・転入学選抜 I 期 出題の意図

【問 1～問 5】

本試験では、英語で書かれた文章を読み取り、その内容を適切に理解する力を中心に評価することを目的としている。まとまりのある英文を題材とした読解問題を通して、文章の流れや筆者の説明を踏まえて内容を把握する力を測る構成としている。

本文では、食生活や食品に関する話題を扱った文章を取り上げている。語句の意味を問う問題や内容理解問題を通して、文脈を手がかりに語句の意味を判断し、文章の展開や筆者の説明を正確に読み取ることができるかを確認している。また、文章中の具体的な情報や説明の関係を整理しながら、内容を適切に理解できているかについても評価している。

これらの問題を通して、英文の構造や内容を踏まえて文章全体の意味を理解し、文脈に基づいて適切に判断する英語の基礎的な読解力と理解力を総合的に評価するとともに、文章の要点を把握する力についても確認することをねらいとしている。

【問 6 以降】

人体の構造と機能、食品の成分と性質、環境と健康など、人間健康学部において学ぶ基礎となる知識を幅広く問うとともに、科学的思考力・記述力・計算力を測ることを目的として出題した。各大問の出題意図は以下のとおりである。

【問 6】では、海洋環境汚染として社会的に注目されているマイクロプラスチックを題材に出題した。マイクロプラスチックの定義に関する基礎的知識の理解、プラスチックが細片化されるメカニズムを科学的に説明する力、および削減に向けた対応策を論述する応用力と記述力を総合的に評価する出題とした。

【問 7】では、食品の成分と性質および治療食について、空欄補充形式で問うている。

【穀類】の設問では、デンプンを構成するアミロースとアミロペクチンの構造的特徴、加熱・冷却によるアルファ化とベータ化の現象、および小麦粉のグルテン形成など、食品化学の基礎知識を正確に理解しているかを確認する出題とした。【治療食】の設問では、一般治療食と特別治療食の分類、嚥下調整食・エネルギーコントロール食の概念、食塩コントロール食における入院時食事療養の算定要件、食事箋と食品構成の発行・作成主体など、臨床栄養管理に関わる知識の習得度を測る出題とした。

【問 8】では、人間健康学部で学ぶ上で必要となる幅広い知識を択一式で問うている。消化器系の構造・ホルモンの分泌・生体エネルギーと代謝など人体の構造と機能に関する

知識、脂肪酸の種類と性質・食品の色素変化・食品添加物の安全性評価・細菌性食中毒など食品科学と食品衛生に関する知識、鉄やビタミン B₁₂の栄養特性・食事摂取基準の指標・思春期の栄養など応用栄養学に関する知識、行動変容技法・ソーシャルサポートの類型・公衆栄養活動・健康増進法・学校給食など栄養教育および公衆衛生に関する知識、ならびに廃棄率を踏まえた発注量の計算など給食管理に関する知識について、それぞれの理解度を総合的に測る出題とした。